

平成22年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 サイオテクノロジー株式会社
 コード番号 3744 URL <http://www.sios.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員(財務経理担当)
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

(氏名) 喜多 伸夫
 (氏名) 小林 徳太郎

TEL 03-6860-5105

配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第3四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第3四半期	3,698	△9.7	△138	—	△135	—	△167	—
21年12月期第3四半期	4,096	△5.5	△2	—	△2	—	△58	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第3四半期	△1,932.71	—
21年12月期第3四半期	△668.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第3四半期	3,578	1,878	51.7	21,330.37
21年12月期	4,212	2,120	49.7	24,169.73

(参考) 自己資本 22年12月期第3四半期 1,849百万円 21年12月期 2,095百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	△8.8	△340	—	△340	—	△360	—	△4,152.06

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.6「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名

）、除外 一社（社名

）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年12月期3Q 88,744株 21年12月期 88,744株

② 期末自己株式数 22年12月期3Q 2,040株 21年12月期 2,040株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年12月期3Q 86,704株 21年12月期3Q 87,411株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は、終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.4「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書	8
【第3四半期連結累計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
4. 補足情報	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

<当第3四半期連結累計期間の概況>

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、厳しい状況が継続しているものの、一部の企業におけるクラウドコンピューティング^{(*)1}（以下、クラウド）やオープンソースソフトウェア^{(*)2}（以下、OSS）を活用した情報化投資には、底堅い動きが見られました。このような中、当社グループは、中期事業戦略に基づくクラウドとOSSへの注力やアジア事業戦略強化を掲げ、事業構造の転換を推進しています。

当第3四半期連結累計期間の販売活動においては、「LifeKeeper」^{(*)3}や「SIOS Integration for Google Apps」^{(*)4}を始めとした付加価値の高い重点製品・サービスへの注力を推進した結果、これらの製品・サービスは堅調に推移しました。しかしながら、「Red Hat Enterprise Linux」^{(*)5}は新規受注金額が増加したものの、関連する旧製品・サービスが減収影響となりました。この結果、売上高は3,698百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

売上原価や販売費及び一般管理費においては、前年から引き続きコスト効率の改善を図る一方で、クラウドとOSSへの注力やアジア事業戦略強化の一環として、技術・営業の両分野での人材拡充を積極的に実施し、新製品・サービスに関する研究開発の推進や、営業網拡充に努めました。

以上の通り、重点製品・サービスは増収となりましたが、それ以外の製品・サービスの減収によって売上総利益が減少したこと、人材拡充の実施等により販売費及び一般管理費が前年同期と比べ増加したこと等により、営業損失は138百万円（前年同期は営業損失2百万円）、経常損失は135百万円（前年同期は経常損失2百万円）となりました。また、法人税、住民税及び事業税47百万円、法人税等調整額20百万円等を計上し、四半期純損失は167百万円（前年同期は四半期純損失58百万円）となりました。

なお、当社グループの経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）は115百万円（同55.3%減）となりました。

<事業の種類別セグメントの業績>

① オープンシステム基盤事業

当事業においては、主に重点製品・サービスへの注力を進めたことにより、「LifeKeeper」等の販売は好調に推移しましたが、Linux関連製品等は前年同期と比べ減収となりました。これらにより、売上高は3,002百万円（前年同期比14.9%減）となりました。営業利益は、前述の通り、売上総利益の減少や人材拡充の実施等により、290百万円（同43.3%減）となりました。

② Webアプリケーション事業

当事業においては、主に「SIOS Integration for Google Apps」が堅調に推移し、その他のOSSやクラウドを活用した受託開発や、昨年提供を開始した各種製品・サービスについても導入事例が増加し、収益への貢献が徐々に見られるようになりました。これらにより、売上高は697百万円（前年同期比22.5%増）となりました。また、中期事業戦略に基づくクラウド領域への事業構造転換に伴い、営業損失は12百万円（前年同期は営業損失29百万円）となりました。

<所在地別セグメントの業績>

① 日本

国内は、「LifeKeeper」や「SIOS Integration for Google Apps」が堅調に推移しましたが、Linux関連製品等が前年同期と比べ減収となりました。これらにより、セグメント間の売上高48百万円を含めた売上高は3,484百万円（前年同期比8.1%減）となりました。営業利益は、前述の通り、売上総利益の減少や人材拡充の実施等により、516百万円（同16.6%減）となりました。

② 米国

米国は、主に日本向けの「LifeKeeper」の販売が堅調に推移したことにより、セグメント間の売上高280百万円を含めた売上高は543百万円（前年同期比3.5%増）となりました。また、新製品・サービスに関する人材拡充等により、営業損失は238百万円（前年同期は営業損失136百万円）となりました。

（参考）当第3四半期連結累計期間の損益計算書の為替換算レートは、1ドル当たり89.47円（前年同期は1ドル当たり94.97円）

(*1) クラウドコンピューティング

コンピュータ処理をネットワーク（通常はインターネット）経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。

(*2) オープンソースソフトウェア

ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。

(*3) LifeKeeper

米子会社SteelEye Technology, Inc.（10月1日よりSIOS Technology Corp.に商号変更）の開発製品。本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。

(*4) SIOS Integration for Google Apps

Googleが提供する、メール、インスタントメッセージ、スケジュール管理、ワープロ・表計算等をパッケージにしたホスティング型アプリケーションサービスGoogle Appsとお客様の既存の情報システムを直接連携させるサービス。

(*5) Red Hat Enterprise Linux

世界をリードするオープンソリューションプロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<資産、負債及び純資産の状況>

①資産

流動資産は、2,674百万円（前連結会計年度末比13.4%減）となり、前連結会計年度末と比較して415百万円減少しました。主な減少要因は、受取手形及び売掛金167百万円の減少、前渡金186百万円の減少です。

固定資産は、904百万円（同19.5%減）となり、前連結会計年度末と比較して218百万円減少しました。主な減少要因は、のれん232百万円の減少です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末と比較して633百万円減少し、3,578百万円（同15.0%減）となりました。

②負債

流動負債は、1,579百万円（前連結会計年度末比15.3%減）となり、前連結会計年度末と比較して284百万円減少しました。主な減少要因は、前受金276百万円の減少です。

固定負債は、121百万円（同46.9%減）となり、前連結会計年度末と比較して107百万円減少しました。主な減少要因は、長期借入金の1年以内返済分振替による125百万円の減少です。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末と比較して391百万円減少し、1,700百万円（同18.7%減）となりました。

③純資産

純資産合計は、1,878百万円（前連結会計年度末比11.4%減）となり、前連結会計年度末と比較して242百万円減少しました。主な減少要因は、利益剰余金167百万円の減少です。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、当期首残高に比べ84百万円減少し、1,389百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間においては、のれん償却額192百万円、前渡金の減少額186百万円、売上債権の減少額156百万円等の増加要因がありましたが、前受金の減少額253百万円等の減少要因がありましたので、営業活動により得られた資金は156百万円（前年同期比65.6%減）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間においては、無形固定資産の取得による支出25百万円、有形固定資産の取得による支出19百万円等の要因により、投資活動により使用した資金は44百万円（前年同期は44百万円の獲得）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間においては、長期借入金の返済による支出125百万円等の要因により、財務活動により使用した資金は143百万円（前年同期比20.3%減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成22年7月27日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載した業績予想の水準で推移しています。第4四半期においても想定する水準で推移するものと予測しており、当該業績予想の修正はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 固定資産の減価償却費の算定の方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 売上高及び売上原価の計上基準の変更

受託開発のソフトウェアに係る収益及び費用の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した契約から当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について、成果の確実性が認められる契約については工事進行基準(進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の契約については工事完成基準を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高13,473千円、売上総利益2,073千円がそれぞれ増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失が、それぞれ2,073千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,389,985	1,474,260
受取手形及び売掛金	609,609	776,717
商品及び製品	772	940
仕掛品	9,733	13,372
原材料及び貯蔵品	277	277
繰延税金資産	67,139	46,548
前渡金	508,202	694,930
その他	88,751	82,439
貸倒引当金	△36	△36
流動資産合計	2,674,436	3,089,452
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	46,766	54,244
その他（純額）	45,254	51,919
有形固定資産合計	92,020	106,164
無形固定資産		
のれん	431,713	663,864
その他	85,708	80,453
無形固定資産合計	517,421	744,318
投資その他の資産		
投資有価証券	51,654	51,654
差入保証金	182,842	183,318
その他	60,547	37,832
投資その他の資産合計	295,045	272,805
固定資産合計	904,487	1,123,288
資産合計	3,578,924	4,212,741

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	142,248	176,759
1年内返済予定の長期借入金	250,000	250,000
未払法人税等	35,348	22,782
前受金	917,344	1,193,808
賞与引当金	50,737	—
その他	183,536	220,365
流動負債合計	1,579,215	1,863,716
固定負債		
長期借入金	—	125,000
退職給付引当金	78,321	66,567
その他	43,117	36,940
固定負債合計	121,439	228,507
負債合計	1,700,654	2,092,223
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
資本剰余金	861,305	861,305
利益剰余金	△84,754	82,819
自己株式	△48,995	△48,995
株主資本合計	2,209,075	2,376,649
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△359,647	△281,037
評価・換算差額等合計	△359,647	△281,037
新株予約権	18,342	19,145
少数株主持分	10,499	5,760
純資産合計	1,878,269	2,120,517
負債純資産合計	3,578,924	4,212,741

(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	4,096,204	3,698,369
売上原価	2,444,108	2,085,904
売上総利益	1,652,095	1,612,464
販売費及び一般管理費	1,654,721	1,750,494
営業損失(△)	△2,625	△138,029
営業外収益		
受取利息	3,606	2,437
為替差益	4,708	2,814
その他	2,280	3,430
営業外収益合計	10,594	8,681
営業外費用		
支払利息	7,010	3,950
シンジケートローン手数料	2,000	2,000
その他	1,136	1
営業外費用合計	10,147	5,952
経常損失(△)	△2,178	△135,300
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,337	—
新株予約権戻入益	1,834	802
特別利益合計	3,172	802
特別損失		
固定資産除却損	2,206	712
出資金売却損	—	542
特別損失合計	2,206	1,255
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,212	△135,752
法人税、住民税及び事業税	80,448	47,673
法人税等調整額	△21,848	△20,590
法人税等合計	58,599	27,082
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,379	4,738
四半期純損失(△)	△58,433	△167,574

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,212	△135,752
減価償却費	42,405	45,257
権利金償却費	15,813	15,813
のれん償却額	202,179	192,187
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,337	—
受取利息及び受取配当金	△3,606	△2,437
支払利息	7,010	3,950
固定資産除却損	2,206	712
売上債権の増減額(△は増加)	138,468	156,408
たな卸資産の増減額(△は増加)	△17,750	3,807
仕入債務の増減額(△は減少)	48,296	△34,511
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25,627	11,753
賞与引当金の増減額(△は減少)	50,192	50,737
前受金の増減額(△は減少)	△430,280	△253,002
前渡金の増減額(△は増加)	506,934	186,722
未払消費税等の増減額(△は減少)	△49,605	13,112
その他	69,377	△49,792
小計	604,719	204,966
利息及び配当金の受取額	3,606	2,437
利息の支払額	△5,771	△3,470
法人税等の支払額	△149,122	△47,853
営業活動によるキャッシュ・フロー	453,432	156,080
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,854	△19,046
無形固定資産の取得による支出	△2,043	△25,780
定期預金の払戻による収入	100,000	—
投資有価証券の取得による支出	△46,654	—
差入保証金の差入による支出	—	△1,195
差入保証金の回収による収入	8,227	1,452
出資金の売却による収入	—	457
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,674	△44,111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△125,000	△125,000
自己株式の取得による支出	△41,544	—
配当金の支払額	△94	△12
リース債務の返済による支出	△13,855	△18,836
財務活動によるキャッシュ・フロー	△180,494	△143,849
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,097	△52,394
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	308,515	△84,275
現金及び現金同等物の期首残高	1,285,183	1,474,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,593,698	1,389,985

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)

	オープンシステム基盤事業 (千円)	Webアプリケーション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,526,328	569,876	4,096,204	—	4,096,204
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	42	42	(42)	—
計	3,526,328	569,919	4,096,247	(42)	4,096,204
営業利益又は営業損失(△)	512,864	△29,922	482,941	(485,567)	△2,625

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製商品及びサービスの系列性、市場の類似性等を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要品目

事業区分	主要品目
オープンシステム基盤事業	LifeKeeper、Red Hat Enterprise Linux、コンサルティング、その他関連製品・サービス
Webアプリケーション事業	ProjectKeeper、Sales Force Automation+、SIOS Integration for Google Apps、Webアプリケーション受託開発、コンサルティング、その他関連製品・サービス

3 事業区分の変更

従来、オープンシステム基盤事業に含めておりました一部の部署の業務について、Webアプリケーション事業との親和性が高まったこと等に伴い、事業の実態をより適切に表すために、第1四半期連結会計期間より各事業区分に含まれる製品・サービスの構成を見直しております。これにより、当第3四半期連結累計期間において、オープンシステム基盤事業では売上高172,847千円の減少、営業利益6,997千円の増加となりました。Webアプリケーション事業では売上高172,847千円の増加、営業利益6,997千円の減少となりました。

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	オープンシステム基盤事業 (千円)	Webアプリケーション事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,000,739	697,629	3,698,369	—	3,698,369
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,730	327	2,057	(2,057)	—
計	3,002,469	697,956	3,700,426	(2,057)	3,698,369
営業利益又は営業損失(△)	290,545	△12,382	278,162	(416,192)	△138,029

(注) 1 事業区分の方法

事業は、製商品及びサービスの系列性、市場の類似性等を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要品目

事業区分	主要品目
オープンシステム基盤事業	LifeKeeper、Red Hat Enterprise Linux、コンサルティング、その他関連製品・サービス
Webアプリケーション事業	ProjectKeeper、Sales Force Automation+、SIOS Integration for Google Apps、Webアプリケーション受託開発、コンサルティング、その他関連製品・サービス

- 3 「2.その他の情報(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 ①売上高及び売上原価の計上基準の変更」に記載のとおり、受託開発のソフトウェアに係る収益及び費用の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した契約から当第3四半期連結会計期間末までの進捗部分について、成果の確実性が認められる契約については工事進行基準(進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の契約については工事完成基準を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の「Webアプリケーション事業」の売上高は13,473千円増加し、営業損失は2,073千円減少しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,791,283	304,920	4,096,204	—	4,096,204
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	42	220,106	220,149	(220,149)	—
計	3,791,326	525,027	4,316,354	(220,149)	4,096,204
営業利益又は営業損失(△)	619,777	△136,835	482,941	(485,567)	△2,625

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	3,436,059	262,309	3,698,369	—	3,698,369
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	48,489	280,872	329,361	(329,361)	—
計	3,484,548	543,181	4,027,730	(329,361)	3,698,369
営業利益又は営業損失(△)	516,770	△238,608	278,162	(416,192)	△138,029

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)

	米州	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	213,201	78,267	16,559	308,028
II 連結売上高(千円)	—	—	—	4,096,204
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	5.2	1.9	0.4	7.5

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 米州……………米国、カナダ及び中南米諸国

(2) 欧州……………ドイツ、イギリス、イタリア及びその他欧州諸国

(3) その他の地域……韓国、豪州、台湾、中国

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

	米州	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	161,953	85,922	26,235	274,111
II 連結売上高(千円)	—	—	—	3,698,369
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	4.4	2.3	0.7	7.4

(注) 1 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 米州……………米国、カナダ及び中南米諸国

(2) 欧州……………ドイツ、イギリス、フィンランド及びその他欧州諸国

(3) その他の地域……中国、台湾、韓国、豪州及びその他の地域

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

平成21年12月期 決算短信の「1. 経営成績 (4) 事業等のリスク」及び平成20年12月期 決算短信の「3. 経営方針」については、平成22年12月期 第2四半期決算短信の添付資料「4. 補足情報」により変更の開示を行っています。